

友史会 2025 年 6 月例会

## 「高井田山古墳と周辺の群集墳」

- ・ 日程 2025 年 6 月 15 日(日)
- ・ 案内 平井洸史 権考研学芸課主任研究員
- ・ コース 高井田横穴公園集合→高井田山古墳→平尾山古墳群安堂 6-3 号墳(移築)→鳥坂寺跡→家原寺跡→石神社→山下寺跡→登山口→平尾山古墳群 平野・大県支群→鐸比古鐸比賣神社 解散

[感想文 6月例会だより]

JR 高井田駅から徒歩 1 分の高井田横穴公園入口で集合、平井先生から行程についての説明と挨拶があった。天候が少し不安であったが降雨の心配はなくスタートすることができた。

丘陵の崖面などに横穴を掘った横穴墓群を見学、順路は狭い通路でアップダウンもある。横穴は崖の上下に作られた所もあり、玄室の奥行きも広い。

平井先生の説明では高井田横穴群の特徴は線刻による壁画があることで、人、馬、鳥、植物など多岐にわたり古墳時代の葬送観念や習俗の一端が見えるとの事。古墳公園の整備、保存状態が良く見学しやすい環境が作られていた。階段を上ったところに高井田山古墳の石室が保存されており透明版で覆われて周りを一方通行で見学した。説明版前で先生のお話を受ける、漢城期の系譜がたどれるとの事、渡来人の被葬者を埋葬したのかもしれない。大和川以南では安福寺横穴群や玉手山東横穴群など近畿地方の横穴墓はこの地域に密集して作られているとの説明もあった。次に行くのは、安堂第六支群三号墳で移築された石室が保存されている。古墳好きの会員の皆さんと石室を取り囲み見学した。切り石を積んだ石室は右片袖の玄室だった。

更に坂を歩き平尾山方面に向かい歩く。七世紀後半には寺院が多く創建された今回は寺院跡の標識のみ見学し先に進む。柏原市のブドウ畑の横を歩く地産のぶどう酒が有名なところである。

昼休憩の場所である石神社に辿り着く、大きなご神木の前で平井先生から平野・大県支群についてご説明を受ける。午後には山登りがあるので体力的に心配な方は昼食後解散していただいて結構ですと説明を受ける。

一部の方は離れられたが、さすがに友史会の会員の方は古墳が好きで体力に自信があり、この後も継続されていた。

平尾山古墳群の登山口で平井先生より再度解散して良いことを案内して頂く。多くの友史会の方は比高差 150m の登山を開始した。少し登っただけで汗が滴ってくる。周りは樹木の林で角度のきつい坂道が続いた。登山道は幾通りもあり、私たちは「きぼうの道」を歩き、分かれ道が所どころに有るので友史会の運営委員の方に友史会旗で案内して頂けた。さらに山を登り 17 支群一号墳直径 15m の円墳、右片袖の横穴石室で玄室の天井石のみ残る、二号墳の玄室には順番に入り見学、細い山道を進み、階段を登り平尾山古墳群平野・大県 11 支群の 4 号墳を見学する、ここまで来るとさすがに一部の方にはかなりの疲れが見られた。「いにしへの道」を歩き、「なかよしの道」に行く。ここで、平井先生より最後のご挨拶があり、山裾では鍛冶生産が行われた事が復元され被葬者も鍛冶にかかわる人々であると思われる。

解散後は鐸比古鐸比賣神社を經由し駅へ向う途中の道からは夫婦岩や高尾山を見ることができた。  
今日は久しぶりの大阪の遺跡を見学ができ、貴重な一日となりました。平井先生いつも丁寧で詳しいご説明を頂きありがとうございました。

大阪市 松本 和英

[記録写真]



高井田横穴群 徂徠先生の説明



高井田山古墳石室遺跡見学



石神社にて 中央に平井先生



平尾山古墳群



鐸比古鐸比賣神社